



News Release

2007年9月26日
株式会社ジュピターテレコム
(コード番号: 4817 JASDAQ)

独自システムによる、緊急地震速報サービスの内容を決定 ～CATV 向け従来システムの、ワンランク上のサービスを提供～

株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社:東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者:森泉 知行)は、来年1月より提供を開始する、家庭向け緊急地震速報サービスの内容を決定しましたので、お知らせします。

J:COM の緊急地震速報サービスは、お客さま宅に設置する専用の受信端末に緯度・経度・地盤情報(揺れやすさ)を事前に設定することで、専用端末ごとの精度の高い震度・地震到達時間のお知らせが可能です。これは、従来 CATV 他局で提供されているヘッドエンド演算方式ではなく、J:COM が独自に開発した「端末演算方式」により実現したものです。

更に、地域行政等と協力し、行政等が発信する告知放送端末として、災害発生時・発生後・復旧時に必要な、地域の防災・生活情報等も受信できます。またFMラジオを搭載しているため、災害時には持ち出して情報を受信することができます。「緊急地震速報」「告知放送」「FM ラジオ」の3つの機能を搭載した端末を利用したサービスの提供は、CATV 業界で初めてとなります。

この独自システムは汎用性を備え、J:COM グループ以外の CATV 局でも導入が可能です。J:COM では端末等の機器を含めたシステム一式を、導入・運用支援も含めたトータルなパッケージとして、2008 年春より、他 CATV 局に提供する予定です。

家庭向け緊急地震速報サービスの具体的な内容については、以下のとおりです。

<月額利用料金> ※別途設置費用が必要となります

J:COM加入者* 480 円 (税込 504 円)

J:COM 未加入者 800 円 (税込 840 円)

*J:COM 加入者: J:COM TV・NET・PHONE・MOBILE のいずれか1サービス以上に加入されている方。

<専用受信端末>

1)DX アンテナ株式会社製



2)株式会社ブロードネットマックス製



<J:COM 緊急地震速報サービスの特徴>

A) 緊急地震速報

- ◆ 予測震度が3以上の場合に、専用受信端末の音声アナウンスとフラッシュでお知らせ。
※ 予測震度3でのアナウンスは、希望により消音設定が可能。
- ◆ アナウンス文言(基本パターン)

「(警報音) 緊急地震速報 およそ〇秒後に 震度〇程度の地震がきます。」

※ 揺れまでの猶予時間が短い場合は、「(警報音) すぐに 震度〇程度の地震がきます。」等の、短縮されたアナウンスに変わります。

B) 簡易告知放送

各地域行政・消防・警察などの協力を得ることで、気象警報や各種地域情報が受信できます。

C) その他機能

被災の際には専用受信端末を持ち出して、FM ラジオ・簡易ライトとして使用できます。

<サービス提供スケジュール(予定)>

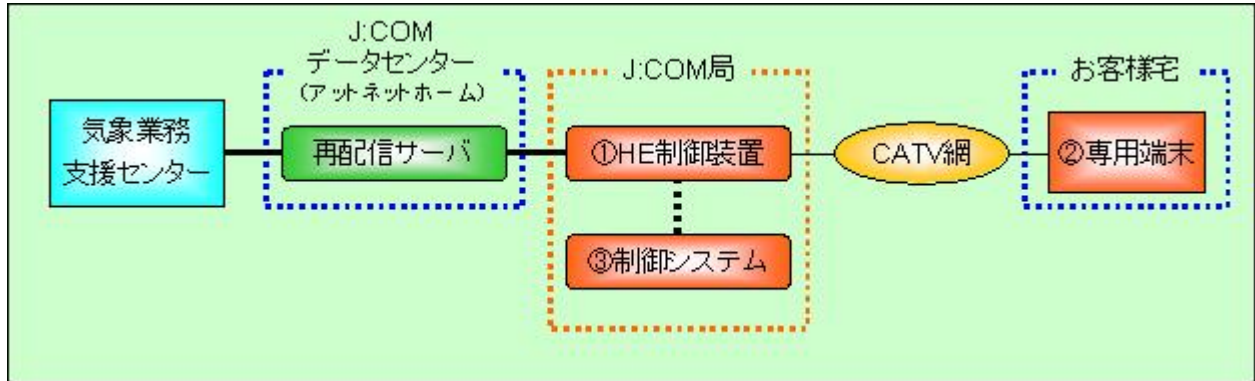
2008 年 1 月中旬 — J:COM 東京/板橋/西東京/調布/茨城/東関東/千葉/すみだ/群馬/さいたま

2008 年 2 月初旬 — J:COM 湘南/相模原・大和/せたまち、J:COM 関西/神戸芦屋/神戸三木/北摂

2008 年 3 月初旬 — J:COM 札幌、J:COM 福岡/北九州/下関、ケーブルウエスト

<開発体制>

- ①ヘッドエンド制御装置(HE 制御装置)・・・日本通信機株式会社
・緊急地震速報の受発信と、告知放送の制御を行う機器
- ②専用受信端末・・・DX アンテナ株式会社、株式会社ブロードネットマックス
- ③制御システム・・・パイオニア株式会社
・専用受信端末への、緯度・経度・地盤情報の書き込みなどを行うシステム。



J:COM は、今後もサービスの高機能化や地域情報の幅を広げるなど、高い技術と地域密着によるお客さまへのサービスを実現してまいります。

ジュピターテレコムについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコムは、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ局・番組供給事業統括運営会社です。ジャスダック証券取引所に上場しており(コード番号: 4817)、主要株主は住商/LGI スーパーメディア, LLC.です。社内カンパニー制のもと、J:COMカンパニーはケーブルテレビ事業を統括し、札幌、関東、関西、九州エリアの21社41局を通じて約272万世帯(2007年8月31日現在)のお客様にケーブルテレビ、高速インターネット接続、固定電話、移動体通信の4サービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約989万世帯*8(2007年8月31日現在)です。ジュピターTVカンパニーは、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括し、16の専門チャンネルに出資及び運営を行っています。

*8 ケーブルウエストグループ分のホームパス世帯(約140万世帯)については、当社と算出方法が異なります。

この発表文にはジュピターテレコムおよびその関係会社の将来または将来の経営予測に関する事項が含まれています。この発表文で述べまたは暗示しているこれらの事項には、各種のリスク・不確定な要素などが含まれており、従って、将来における当社の今後の実績・活動内容・業績などの実質的結果と異なることがあります。